

【生徒向け】生成A I 利用ガイドライン

新潟県立三条高等学校

1. はじめに

このガイドラインは、生成A I を使用する際の基本的なルールとマナーを定め、生徒が安全かつ効果的にA I 技術を利用できるようにすることを目的としています。

2. 生成A I とは

生成A I とは、文章や画像、音声などのコンテンツを自動生成する人工知能（A I）のことです。C h a t G P T に代表される対話型生成A I は、膨大な量の情報を学習し、ある単語の次にくる単語や文章を推測し、「統計的にそれらしい応答」を生成するものです。

生成A I は発展途上にあり、多大な利便性の反面、個人情報流出、著作権侵害のリスク、偽情報の拡散、批判的思考力や創造性、学習意欲への影響等、様々な懸念も指摘されています。

また、もっともらしいが誤った情報（ハルシネーション）を生成したり、不適切な内容や、偏った結果（バイアス）を出力したりする可能性もあります。

3. 生成A I の活用例

- ・情報モラル教育の一環として、生成A I が出力した誤りを含む回答を教材として使用し、その性質や限界を理解する。
- ・グループ学習で、アイデア出しや意見の整理の際に、生成A I を使って視点を広げる。
- ・より自然な英語表現への改善や興味関心に応じて単語リストや例文リストの作成に活用する。
- ・自分で書いた文章を生成A I に修正させ、出力結果をもとに更に改善する練習を行う。
- ・生成A I を用いた高度なプログラミング学習に活用する。

4. 生成A I を利用する前に

利用に当たっては、生成A I の特性やリスクについて学習し、教員の指導の下、適切に使用してください。また、あくまで「道具」の一つとして利用してください。

生成A I のサービスによっては、年齢制限や保護者の同意が必要な場合があります。個人の判断で、勝手に使用しないよう注意してください。

5. 利用上の注意点

■ 学習目的での利用

生成A I は、学習や研究の補助ツールとして利用します。宿題や課題の代行に使わないようにしてください。

■ 倫理的な利用

生成A I を利用する際には、他人を傷つけたり、不快にさせるコンテンツを生成したりしないようにしてください。

■ プライバシーの保護

個人情報やプライバシーに関するデータを生成A I に入力しないでください。

■ 不正な行為の禁止

コンクールの作品やレポートなどに、生成A I による生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出することは不適切かつ不正な行為です。そのような行為は行わないでください。

■ 著作権の侵害について

生成A Iが学習したデータに著作物が含まれている場合、生成された情報が既存の情報と類似する可能性があり、意図せず権利侵害につながる可能性があります。特に、画像や音楽、文章などを外部に公開する場合は、権利関係を慎重に確認するとともに、生成A Iを利用したことを示す必要がありますので注意してください。

6. 問題の報告

学校における生成A Iの利用に関して問題が発生した場合は、速やかに担任又は本校の教員に報告してください。

7. 終わりに

生成A Iは正しく利用することで学習の助けになるツールです。しかし、利用方法を誤るとトラブルの原因にもなりかねません。このガイドラインを遵守し、責任ある行動を心掛けましょう。また、本ガイドラインは今後、変更される可能性があります。

[参考]

文部科学省「初等中等教育段階における生成A Iの利活用に関するガイドライン Ver. 2.0」

令和6年12月26日